

(仮称) 岡崎市西部学校給食センター整備事業

## 審査講評

令和4年4月11日

岡崎市

岡崎市西部学校給食センター整備事業者選定審査委員会（以下「選定審査委員会」という。）は、（仮称）岡崎市西部学校給食センター整備事業（以下「本事業」という。）に関して、審査基準書に基づき、提案内容等の審査を行いましたので、審査結果及び審査講評をここに報告します。

令和4年4月11日

選定審査委員会  
委員長 堀越 哲美

## 目 次

<b>I 選定審査委員会</b> .....	<b>1</b>
1 委員の氏名及び選任理由 .....	1
2 開催日及び議題 .....	1
<b>II 審査結果</b> .....	<b>2</b>
1 参加資格審査 .....	2
2 提案審査 .....	2
<b>III 審査講評</b> .....	<b>8</b>
1 各審査項目についての講評 .....	8
2 総評 .....	10

## I 選定審査委員会

### 1 委員の氏名及び選任理由

選定審査委員会委員は、下記専門性を有する学識経験者で組織されています。

	氏名	所属等
委員長	堀越 哲美	愛知産業大学 学長
委員	金田 雅代	女子栄養大学 名誉教授
委員	岡田 京子	岡崎市教育委員
委員	加藤 秀行	株式会社日本政策投資銀行 東海支店次長

### 2 開催日及び議題

開催日及び議題は以下のとおり行いました。

回	開催日	主な議題
第1回	令和3年7月12日	・実施方針（案）について ・要求水準書（案）について
第2回	令和3年9月28日	・審査基準書（案）について ・審査に関して確認すべき事項について
第3回	令和3年2月28日	・審査方法について ・入札参加資格審査結果について ・基礎審査結果の報告について ・提案の概要について ・質疑（案）について
第4回	令和4年3月15日	・ヒアリング
第5回	令和4年3月15日	・第2次審査（本審査） ・最優秀提案の選定

## II 審査結果

### 1 参加資格審査

参加資格審査書類について、表1に示す2グループから提出があり、選定審査委員会での審査の結果、いずれのグループも参加資格を有していることを確認しました。

表1 参加資格審査申請者

登録番号	314	315
代表企業	徳倉建設株式会社 岡崎営業所	酒部建設株式会社
構成員	サンモク工業株式会社 白龍建設株式会社 朝日工業株式会社 日本調理機株式会社 中部支店 株式会社アルクス	株式会社アイホー 名古屋支店 株式会社トーエネック 岡崎支店 サンエイ株式会社 サービス事業部 西三河営業所 東洋システム株式会社
協力企業	株式会社青島設計 株式会社松浦建築事務所	株式会社綜企画設計 名古屋支店

### 2 提案審査

#### (1) 提案書類及び提案価格の確認

参加資格を有する2グループのうち314グループが辞退した結果、提案書類は315グループのみから提出されました。提出された提案書類が募集要項等の指定どおりにすべて揃っていること、更に提案価格が予定価格の範囲内であることを確認しました。

(1) 基礎審査

基礎審査の対象となった1グループの提案内容について、表2に掲げる基礎審査の審査基準をすべて満たしていることを確認しました。

表2 基礎審査の審査基準

審査項目		審査基準
事業計画	事業工程	・実現可能な事業工程となっているとともに、事業条件が満たされていること
	提案価格	・算定方法に誤りがないこと
	市の支払条件	・施設整備に係る対価の算定方法に誤りがなく、支払条件が満たされていること ・維持管理に係る対価の算定方法に誤りがなく、支払条件が満たされていること
	事業実施体制	・事業実施体制が明示されていること ・各業務を実施する構成員及び協力企業とその役割が明確に示されていること
	リスク管理の考え方	・リスクの分担者、分担方法、分担者のリスク管理能力が明示されていること
	資金調達計画	・資金調達方法、金額、条件などが明示されていること ・資金調達に係る利息の計算に誤り等がないこと
	長期収支計画	・長期収支計画全体の計算に誤り等がないこと ・各種発生費用の項目及び算定方法に誤りがなく、市場価格と極端に乖離していないこと
施設整備計画	施設整備計画	・事業計画地の範囲内に配置されており、法令に適合した計画であること ・施設の規模について、要求水準が満たされていること ・各室が要求水準を反映した基本的性能を備えたものであること
	調理設備機器整備計画	・調理設備機器の仕様について、要求水準を満たしていること ・施設整備計画（給食エリアのゾーニング等）と適合した配置であること
	施工計画	・適切な施工計画が策定されていること
維持管理計画	維持管理計画	・各業務の水準について、要求水準が満たされていること

### (3) 性能審査

#### ① 評価方法

選定審査委員会は、審査基準書に基づき、審査項目ごとに表3に示す基準により各委員が4段階で評価し、それに応じて計算される得点（加点）の平均値を付与しました。

表3 性能審査加点項目の評価基準

評価	評価指標	加算割合
A	当該評価項目において非常に優れている	配点×1.0
B	当該評価項目において優れている	配点×0.75
C	当該評価項目において適切な提案がなされている	配点×0.5
D	当該評価項目において具体的かつ適切な提案が少ない	配点×0.25

#### ② 評価結果

性能審査加点項目の評価結果は、表4に示すとおりです。

表4 評価結果

加点項目		配点	登録番号315
事業計画			
事業の安定性	資金計画	10	8.75
	マネジメント及びガバナンス体制	60	56.25
	他事業者との連携	30	22.50
	サービス水準向上	30	22.50
	同種事業実績	30	20.63
リスク管理の考え方		30	20.63
地域社会、地域経済への貢献		30	26.25
事業計画 小計		220	177.5
施設整備			
安全性・防災性	構造計画	20	12.50
	火災等の事故防止		
	防犯性		
	浸水対策	40	32.50
機能性	給食エリアのゾーニング及び配置計画	40	30.00
	全体動線計画	30	20.63

		各室の環境衛生・快適性	40	27.50
		ユニバーサルデザインへの配慮	20	13.75
		調理設備機器の性能	40	27.50
経済性		LCCの低減	30	20.63
		フレキシビリティ・更新性・耐久性		
		事業終了時の経済性		
環境性		環境負荷の低減	30	24.38
		周辺環境保全・外観		
その他		施工計画	20	17.50
		施設整備に関する体制及びモニタリング	30	20.63
施設整備 小計			340	247.5
開業準備計画			10	7.50
開業準備 小計			10	7.5
維持管理				
維持管理		維持管理業務体制	30	22.50
		維持管理業務内容	40	27.50
		長期修繕計画策定	40	32.50
維持管理 小計			110	82.5
災害対応				
		災害時の機能維持	20	17.50
		災害時の業務体制	20	16.25
災害対応 小計			40	33.8
その他				
		その他の独自提案	30	20.63
その他 小計			30	20.6
合計			750	569.4



#### (4) 価格審査

##### ① 価格評価点の算定方法

価格評価点は、提案書類に記載された提案価格を用いて、次の算式により算出します。

$$\text{価格評価点} = 250 \text{ 点} \times \left( \frac{\text{上限価格} - \text{提案価格}}{\text{上限価格} - \text{価格評価基準額}} \right)^{0.5}$$

※価格評価基準額は、3,165,725,600 円（上限価格の 80%（消費税及び地方消費税を含まない。））とする。なお、提案価格が価格評価基準額を下回る場合は価格評価点を 250 点とする。

##### ② 算定結果

価格評価点の算定結果は表 5 に示すとおりです。

表 5 価格評価点の算定結果

	登録番号 3 1 5
提案価格	3,954,487,270 円（税抜）
価格評価点	15.0 点

(5) 最優秀提案の選定

① 最優秀提案の選定方法

選定審査委員会において、性能評価点と価格評価点を合計して総合評価点を算出しました。

② 選定結果

表6に示すと通りの総合評価点で、登録番号315を最優秀提案者として選定しました。

表6 総合評価結果

評価項目	配点	登録番号315
性能評価点	750	569.4点
価格評価点	250	15.0点
合計（総合評価点）	1,000	584.4点

### III 審査講評

#### 1 各審査項目についての講評

##### 【事業計画】

審査項目	登録番号 315
資金計画	・不測の事態も考慮した資金計画が示され、事業収支の安定化に寄与するものとして高く評価された。
マネジメント及びガバナンス体制	・SPC の設立によるリスク管理が明確な事業スキームや第三者による監視機能が高く評価された。
他事業者との連携	・セルフモニタリングの実施や関係者間の会議体の設置など適切な提案がなされていると評価された。
サービス水準向上	・外部モニタリングの仕組みや、業務の効率化、改善提案に継続的に取り組む仕組みが適切な提案がなされていると評価された。
同種事業実績	・グループ全体として本事業を確実に遂行するための実績を有していると評価された。
リスク管理の考え方	・豊富な実績・経験等を踏まえ、リスク内容に応じた適切な提案がなされていると評価された。
地域社会地域経済	・地元企業の活用や障がい者雇用についての具体性が特に高く、地域社会及び経済へ寄与するものとして高く評価された。

##### 【施設整備】

審査項目	登録番号 315
安全性・防災性	・構造計画や安全装置などについて効果的な提案がなされていると評価された。
浸水対策	・機械設備を含めた建物全体としての対応等、効果的な提案として高く評価された。
給食エリアのゾーニング及び配置計画	・調理動線への配慮等、全体として適切な提案がなされていると評価された。
全体動線計画	・要求水準を満足する適切な提案がなされていると評価された。
各室の環境衛生・快適性	・各室の用途に応じた事業者の実績をふまえた適切な提案がなされていると評価されたが、調理場内で採用する空調方式等の衛生性や快適性については設計段階で詳細確認が必要との意見があった。
ユニバーサルデザインへの配慮	・要求水準を満足する適切な提案がなされていると評価された。
調理設備機器の性能	・献立方式に応じた最新設備の導入等、高く評価されたものの、運営側の作業効率を踏まえた機器配置等については設計段階で詳細確認が必要との意見があった。

経済性	・LCCの低減等、具体的な検討に基づく適切な提案であると評価されたものの、示された定量的な数値を適切に履行する仕組み構築について、今後具体的な検討が必要との意見があった。
環境性	・周辺地域に配慮した配置計画の他、騒音対策や臭気対策等、適切な提案がなされていると評価された。
施工計画	・近隣対策や安全対策について適切な提案されたことに加え、県内企業を中心とした機動力に期待できる体制が高く評価された。
施設整備に関する体制及びモニタリング	・要求水準を満足する適切な提案であるものの、一般的な内容と評価された。

#### 【開業準備】

審査項目	登録番号 315
開業準備計画	・市との連絡体制や具体的かつ計画的な提案が高く評価されたものの、給食調理業務を担う給食協会等、他事業者との協力・連携体制については今後具体的な検討の必要があるとの意見があった。

#### 【維持管理】

審査項目	登録番号 315
維持管理業務体制	・市との連絡体制やモニタリング手法等の具体性があり適切な提案がなされていると評価された。
維持管理業務内容	・全体を通じて要求水準を踏まえた適切な提案がなされていると評価された。
長期修繕計画策定	・独自の管理システムの導入等、具体性と説得力のある提案となっており、効果的な提案として高く評価された。

#### 【災害対応】

審査項目	登録番号 315
災害時の機能維持	・設備面の機能維持等が具体的に示されるとともに、近隣退避場所としての機能するための細やかな提案が高く評価された。
災害時の業務体制	・地元企業と中央企業の役割分担が明確で、迅速な復旧対応に期待できる提案であると高く評価された。

#### 【その他】

審査項目	登録番号 315
その他の独自提案	・食育支援等の複数の独自提案がされたものの、一般的な内容であり今後内容を具体化する必要があると評価された。

## 2 総評

本事業は、老朽化する既存施設の建て替えとして、岡崎市が新たに整備する学校給食センターとなります。安全で、栄養バランスに配慮された食事を摂ることができる学校給食の実施はもとより、経済効率性も重視しながら、学校給食の教育目的に資する事業の実施を目指すことが主眼となります。

本選定審査委員会もこれらのことを念頭に、審議を重ねてまいりました。また、提案書類の審査に当たりましては、募集要項と同時に公表した審査基準書に基づき、公正かつ客観的の評価を確保すべく、各審査項目について審議を尽くし、最終的な結果を得たところでございます。

さて、今回の事業者の提案では、岡崎市の給食サービスレベルを高める最新のマネジメントシステムや施設整備計画の提案が多くあり、全体として高い性能が期待できるものでした。特に、給食調理に関する最新機器の導入、事業リスクが丁寧に分析され具体的な対応策が提示された事業計画や浸水等の災害対策は特に期待できるものでした。登録番号315グループには、これらの提案を確実に実行するとともに、今後検討を具体化する中で特に以下に配慮した事業実施を強く要請します。

- 学校給食協会との協議を踏まえた調理動線計画や機器配置等の詳細調整
- 衛生面や快適性等に関する空調方式の課題抽出及び設計への対応策の反映
- LCCの削減等、定量的なセルフモニタリングシステムの構築
- 市や学校給食協会等の関係主体との連携強化

本事業の事業者選定に係る審査はこれで終了となりますが、登録番号315グループは、先に示した配慮すべき部分について、今後、岡崎市との協議の中で実現可能な具体策を示していただき、その上で本事業の実施にあたっては、参画する全ての企業がそれぞれの役割を確実に果たし、事業期間中に生じる課題等についても、岡崎市及び運營業務を担う岡崎市学校給食協会との良好なパートナーシップの下、安全・安心でさらに質の高い学校給食が安定的かつ継続的に生徒に提供されるよう期待するものであります。